

ソーシャルワーカーデー東京・実践研究大会2016 開催要綱

1 開催趣旨

本企画は、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会において2009年に定められたソーシャルワーカーデー（「海の日」2016年は7月18日）に関連して、東京都及び近隣地域で行っているソーシャルワーカーの実践活動について、広く一般に普及と啓発を図るとともに、他の職能団体、市民との連携・協働の意義を考える機会を持ち、東京の地域福祉におけるソーシャルワーカーの果たす役割や機能を明らかにし、ソーシャルワーカーの更なる専門性の向上と結束を図り、地域の力を育む架け橋となることを目的として開催します。

2 開催日時 9月3日(土) 10:30 ~ 16:40

(※ 以前に8月27日 開催と案内しましたが、変更になっています!!)

3 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 教育研究棟 記念講堂 (〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1)

4 テーマ 「ち」の力

5 サブテーマ ~東京は「ち」からソーシャルアクション始めます!~

- ## 6 コンセプト
- ① 力を結集しSWの絆を深める
 - ② 知恵を絞り絶え間なく挑戦する
 - ③ チームで連携・協働して実践する
 - ④ 実践力を世に発信し知見を共有化する
 - ⑤ 地域の力を育む架け橋になろう!

7 プログラム (注1)

10:30~10:45 (記念講堂)	開会・挨拶	
10:45~12:15 (記念講堂)	・基調講演 福山 和女氏 (ルーテル学院大学名誉教授) 「ちいきの底力UP」 - 地域で支える人たちのために -	
12:15~14:45 (各教室)	12:15~14:45 (各教室)	13:15~14:45 (記念講堂)
当会会員による ・実践研究発表 ・事業報告等 (活動報告、委員会報告、ワークショップなど) (注2)	・ポスターによる活動紹介 委員会活動PR 地区社会福祉士会活動PR ・福祉相談会 当会会員が相談員となり相談を受け付け ・いなぎいスター劇団による 寸劇&合唱とクイズ 「いつまでも住み慣れたまちに暮らし続けたい、明日があるさ!」	・昨年に続き 福祉現場で活躍中のケアドル再び! ケアドルによるステージショー
15:00~16:30 (記念講堂)	・パネルディスカッション 「ちの力」を深掘りします! コーディネーター 小林 良二氏 東京都立大学 (現 首都大学東京) 名誉教授 パネリスト さちこさん ケアドル 松友 了氏 司法福祉委員会副委員長、日本社会福祉士会理事 真下 恵子氏 東京都社会福祉協議会評議員、母子生活支援施設さくら荘 施設長 田邊 仁重氏 世田谷区社会福祉協議会成年後見センター	
16:30~16:40 (記念講堂)	総括・閉会	

注1: 詳細のタイムテーブル、会場については、当日のプログラムをご覧ください

注2: 実践研究発表・事業報告等は一覧(次頁)をご参照ください

8 実践研究発表・事業報告等（注3）

<実践研究発表>

	発表者（所属）	タイトル（サブタイトル）
1	橋本 一豊 （特定非営利活動法人WEL'S新木場）	障害者就労支援事業所における施設外就労導入の効果について － 様々な就労支援ニーズに対応するために －
2	松村 茂 （電話相談事業研究開発委員会）	電話相談におけるソーシャルワーク実践 － 夜間の対話の中に見える安心電話の役割と利用者の変化の可能性 －
3	川崎 千枝 （世田谷区社会福祉協議会）	意思決定支援における動機づけ面接の応用について
4	中野 宏美 （特定非営利活動法人しあわせなみだ）	宿泊所から見える「法制度の対象にならない福祉ニーズ」 － 女性シェルター15年の実践を踏まえて －
5	白井 信光 （NPO 法人ピアネット北）	発達障害者とその家族に対する相談支援のあり方について － 地域生活の可能性をより豊かに広げるためには －
6	塩澤 綾子 （帝京平成大学）	文献レビューによるスピリチュアルアセスメント方法の一考察
7	井上 佳江子 （東京コロニー東京都大田福祉工場）	高次脳機能障がい者支援の役割と有効性について － 地域に不足している社会資源を作り出す －

（順不同、敬称略）

<事業報告等（活動報告、委員会報告、ワークショップ）>

1) 災害福祉委員会：ワークショップ「防災・減災を考える」

災害についての意識を高めて社会福祉士としての役割を考え、災害・減災をテーマに意見交換や情報共有を行い、連携強化を図ります。

2) 就労支援委員会：ワークショップ「就労支援における連携とは？」

一般に「就労支援には他職種、他機関との連携が大切」と言われています。グループワークや意見交換も交え、ワークショップ形式で有効な「連携」について考えます。

3) ぱあとなあ東京：ワークショップ「意思決定支援に配慮した後見実践のあり方について」

公益社団法人日本社会福祉士会がまとめた「意思決定支援に配慮した成年後見活動のための手引き」で示されたツールを活用した実践報告を行い、後見人の実践に関する課題などの報告を行います。

4) 低所得者支援事業センター：活動実践報告

各事業所利用者状況および職員構成等について、事業センター全体の概要を報告し、低所得者支援事業の現状とこれからの考えます。

5) 司法福祉委員会：活動実践報告「罪に問われた高齢者・障害者への支援」

刑事司法ソーシャルワーカーの実践・支援活動について、その経緯と活動内容、見えてきた課題などを整理して、今後の事業の展望を検討する機会とします。

注3：実践研究、事業報告等のタイトル、サブタイトル等は変更されることがあります。

実践研究、事業報告等の発表会場・時間等については、当日配付の抄録集をご覧ください。

抄録集は、東京社会福祉士会のホームページ（会員ページ）で公開予定です。

9 参加対象 一般、社会福祉関係者、社会福祉養成校教員・学生

10 参加費 無料

11 主催 公益社団法人東京社会福祉士会

12 共催 世田谷社会福祉士会

13 後援

東京都、世田谷区、東京都社会福祉協議会、世田谷区社会福祉協議会、日本社会福祉士養成校協会
日本社会福祉教育学校連盟、世田谷区社会福祉事業団、せたがや福祉区民学会

14 問い合わせ先

公益社団法人東京社会福祉士会事務局 担当 齋藤知恵

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階

Tel：03-5944-8466 Fax：03-5944-8467 MAIL：social_workers_day@tokyo-csw.org

（イベント当日）携帯電話：070-5598-3712